

学校だより

おさなさととの風

発行者：岩倉市立曾野小学校 校長 子安弘恭 平成23年7月20日 No. 1

1学期をふりかえって

平成23年度の曾野小学校は、全校児童677名、教職員39名でスタートしました。今年度は「あいさつ、そうじ、学びあい」を合い言葉として、取組を進めてきました。おかげさまで、地域の皆様から子どもたちの元気なあいさつをお褒めいただくことも増えてきました。そうじの時間に流れる「トイレの神様」の曲が功を奏したのか、トイレそうじへの取組がすばらしくなってきました。中には、便器一つ一つに名前をつけて愛着を持って磨いているクラスもあります。また、安心して「分からない」といえるクラス、そして誰かの「分からない」から学びあいが始まることを目指して、授業づくりを進めています。



野外活動も修学旅行も天候に恵まれ、全員参加のもと予定通りに進められました。さて、これから長い夏休みに入ります。家庭や地域の一員として子どもたちが自覚を高め、ふだんできないことに挑戦し、有意義に過ごせるよう期待しています。

お釈迦様の大きな指が目の前に ～ 春の大型紙芝居 ～

ラビットの皆様による恒例の大型紙芝居が6月2日(木)に行われました。今回の出し物は「孫悟空」です。お釈迦様の指の大道具や効果音など工夫を凝らした雰囲気作りで子どもたちは大喜びでした。1、2年生には手作り飛行機をプレゼントしていただきました。ラビットの皆さん本当にありがとうございました。

ラビットの皆様には、七夕飾りや笹竹の手配でも大変お世話になりました。子どもたちの願いが込められた短冊がいっぱい付けられた笹が図書館に飾られ七夕気分を満喫できました。



おすもうさんとの交流会 ～春日山部屋力士交流会～

大相撲名古屋場所が無事開催できることになりました。これを受け6月21日(火)春日山部屋の4名の力士との交流会を開催しました。今回は、やや趣向を凝らした交流会としました。力士への質問コーナー、得意スポーツや得意な歌の披露、子どもや先生方とのミニ綱引き、反復横跳びや握力比べなど子どもたちに身近なことを通したふれあいを楽しみました。圧巻は、馬場先生のお姫様だっこ。おすもうさんのたくましさを目の当たりにして、みな大喝采のひとつときを過ごしました。



田植え体験今年もできました ～田植え(5年生)～

梅雨の合間の晴れ間に恵まれた6月8日(水)、5年生は田植えを行いました。実は、昨年まで指導して下さった方々から、学校田は22年度限りで終わりにしたいとの申し出があり、継続をあきらめていました。しかし、新たに地元の加藤様河村様らのご厚意により今年も田植えができることになりました。子どもたちは、等間隔に目印が付けられた水系に沿って一株ずつ慎重に植えていきました。田んぼに入るのが初体験という子も多く、足取りがおぼつかない中、各クラス四条ずつ田植えを済ませました。その後、田植機の仕組みの説明を受け、機械が巧みに動いて苗を田んぼに次々とさしていく様子を興味深く見入っていました。秋まで見守り、無事もち米が収穫できたら、新年の餅つき大会を開く予定です。田んぼが、昨年より学校に近くなったので、日々成長していく様子を、これまで以上にしっかり観察しながら収穫の秋を迎えたいと思います。



レインボー活動の見直し 5色から3色へ ～ ペア学級との交流すすむ ～

曾野小学校の誇るべき伝統として続けられてきた縦割り集団によるレインボー活動。1年から6年までの異年齢の子どもたちが、一緒に遊んだり、奉仕活動をしたり、運動会で競い合ったりしてきました。しかし、従来の方法だと、クラスの中が何色ものライバルグループに分かれてしまいます。この点を改善したいという意見が職員会で提案されたのを受けて、同じクラスは同じ色に所属できるようにし、またペア学級を設けることにしました。すでに、ペア学級同士のダンスやスポーツを通じた交流会が行われるなど、仕組みを変えたことによるメリットが実感できる取組が始まりました。今年の運動会は、クラス一丸となり、3色のブロックが各自協力していっそう盛り上がることと思います。皆様、応援よろしくお願いたします。

学校だより「おさなさととの風」の名前は、学校の東を流れている五条川が昔「幼川(おさながわ)」と呼ばれていたところから付けました。今年度も学期に1回、発行していきたいと考えています。